



滝野南小学校便り

令和2年7月17日

『子どもが育つ魔法の言葉』

ずっと以前に購入していた本が目にとまりました。『子どもが育つ魔法の言葉』（ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著 石井千春 訳）です。本の冒頭に「子は親の鏡」と題した20行にもわたる詩が掲載され、詩を一連ごとに取り上げて、解説が加えられています。その内容は、「親」を「教師」に置き換えて通じること数多くあります。子どもは親や教師をよく見ています。大人のありのままの姿をよく覚えています。以下の詩に思いを寄せ、子どもたちに向き合っていければと思います。

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育つと、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

■熱中症対策（日傘等）について

熱中症対策として加東市から子どもたち全員に晴雨兼用の折り畳み傘が支給されました。6月17日付の文書「熱中症予防等暑さ対策についてお願い」に記載の「傘さし下校」などで活用します。ランドセルに常備させてください。記名もあわせてよろしくお願いします。回収しませんので、シーズン後は、各ご家庭で管理願います。

それから、従来は夏季休業期間である7月21日から8月31日までの期間、家庭で使用しない学習用品は学校に置いておき、登下校時の荷物を減らすようにします。